美　術　科

美術科の目指す生徒像

- 感受性豊かな心をもった生徒
- 自由な発想力のある生徒
- あきらめず最後までやりぬく力をもった生徒

授業評価における課題

- 生徒が進んで、授業に取り組んでいる意識をもたせる。
- 生徒が自由に質問・発言のできる機会を多くつくる。

言語活動における課題

○ 自ら作り出す欲求や、表現したい気持ち、自由な発想の能力を育成することが課題である。
○ 作品を表現して他者に伝えたり、感想をまとめたりする言語活動を充実させ、よりよい制作につなげることが必要である。

≪本校で検討した言語活動例≫

感じ取る力や思考する力を一層豊かにするために、自分の思いを伝え互いに批評する活動

改善策 ①

進度表の活用により、取組の工程と時程を生徒にあらかじめ指し示し、計画的に制作にあたれるようにする。

改善策 ②

毎時間、進度に合わせた作品を鑑賞し、自由に意見交換を行う時間を作ることで、全員が授業に参加できる場にするとともに作品制作のヒントが得られる機会とする。

改善策 ③

できる限り作品制作に当てる時間を多くとり、たくさん工夫を使わせる。

そのために、発想段階の作業については家庭学習や定期テストの問題とし、授業時間を有効に活用する。

～研究の成果～

- 進度表を活用することにより、目標をもち、計画的に授業に取り組む生徒が増えた。
- 互いの意見を聞くことで、新たなアイデアや作業方法を考える上での一助となり、意欲をもって作品作りに取り組むようになった。